

5つの基本能力の要素

能力は別々に単独で発揮されない。常に全体を含めた思考力と行動力で判断される。

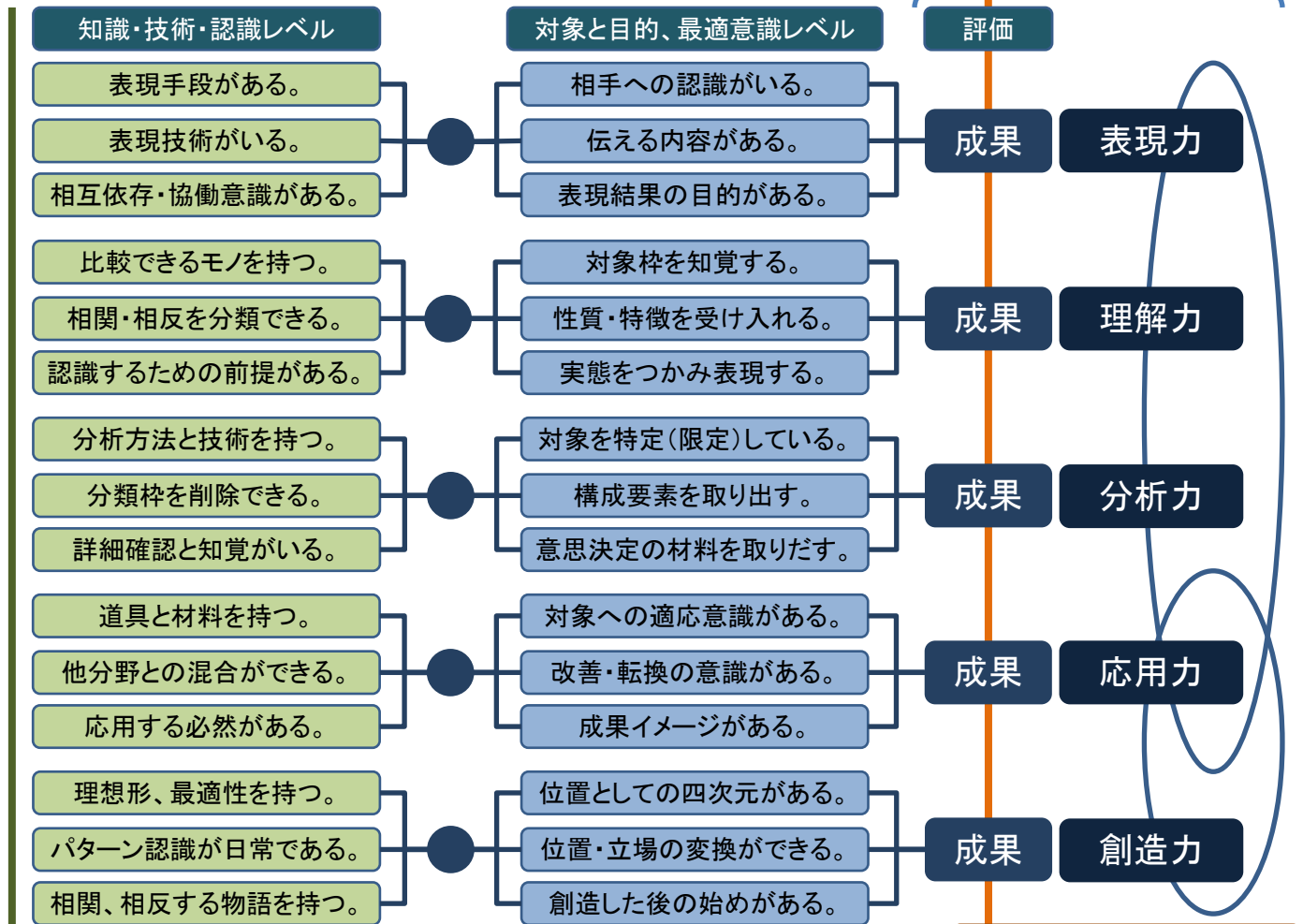
一般には、創造力を除く4つの能力に焦点が当てられていることが多い。

知識、技術、論理化&体系化された経験を増やし、深めていけば、各能力は向上する。

知識、技術の学習なしに、経験に頼れば、固定されたパターンになり、広がりにくくなる。

能力評価をする前に、知識、技術、視点の学習を提供するか、方法を提示しておくべきである。

組織としての、目的、方向は明らかにしておく必要がある。明らかにされていなければ、各能力が分散してしまい、人材能力を集中しにくくなる。



能力評価を、能力として評価する傾向にあるが、前提、能力の構成要素を含めなければならない。

能力評価は、成果評価を中心に実施するのが適切である。但し、能力を構成する知識、技術レベルと目的意識に関わる2種類(30項目)を検討しておく必要がある。表現力等の単独能力は成長を図るための要素としてとらえるのが適切である。

完璧さへのレベルがある。
達成目的のレベルがある。